



鷹山宇一記念美術館友の会会報

第91号

SUPPORTERS CLUB NEWS

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成30年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



「40年前の蝶のブローチ」

その頃、父は毎日のように都内のデパートに出勤をしていた。極端な高所恐怖症の父は二階以上は上がれない。が、都合よいことに目当ての売場はどこも正面入口に近かった。妹の「蝶のブローチ」が父の収集癖に火をつけてしまったのだ。

銀座・新宿・渋谷・池袋と、その日のコースが決まると嫌がる母を連れ、女性客が集まるアクセサリー売場に直行し、躍起になって「蝶のブローチ」を買い求めているのだ。集めた勝利品を自慢したい父は、一つずつ見せるのは面倒だと、標本箱(ドイツ箱)に虫ピンでブローチを止め、蝶の昆虫標本のようにして皆を驚かせご満悦だった。

しかし段々箱がかさばり始め、やはり蝶ブローチ専用の今度は収納ケースが必要となった。蝶ブローチを探しながら、道具屋にも足を運ぶという、仕事どころではない多忙な日々を、可哀想に父は送るはめになってしまったのだ。

ある日意気消沈して父が帰宅したので、疲れ切った母に訳を聞くと「今日はどこに行っても蝶は未入荷だと言うので、毎回毎回ある物全部買うので、きつと挙動不審の有名人になったのだ」とお茶を飲みながら他人事のように呆れ顔で話す。

高価な宝石入りから、少女趣味的な蝶ブローチまで、集めた数は五〇〇点を下らない。江戸物のかんざし用桐箆筒まで手に入れた父の情熱はその日を境に急に下火となり、いつの間にか外出することさえも稀まれになってしまった。

館長 鷹山 ひばり

鷹山宇一記念美術館友の会

平成30年度通常総会開催



議案審議風景

鷹山宇一記念美術館友の会平成30年度通常総会が6月9日開催され、平成29年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書及び平成29年度剰余金処分案、平成30年度事業計画(案)及び会員計画(案)並びに収支予算書(案)等全ての承認議案が原案の通り承認されました。なお、通常総会議案書を別添の通り同封致します。

総会では、任期満了に伴う理事・監事の改選が行われ、理事1名が交代しました。また総会終了後に開催された役員会において、会長、副会長が再任

され、本年度の事業体制が整いました。本年度も会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。長い間役員を務められた附田豊寿様ありがとうございました。



数沿を子唯流流
のい始大一には
滝にめ滝の滝・銚
がは溪(注)る本
点多流

鷹山宇一画集(2019年版)に掲載されている「十和田湖奥入瀬川」(15頁)、「奥入瀬溪流・白布の滝」(20頁)を見たいと思ふ数年ぶりに奥入瀬溪流を訪れました。八戸市から六戸町、十和田市街地を通り、十和田湖温泉郷に入り、奥入瀬川に架かる十和田橋を渡り最初の「緑のトンネル」(写真：左)を通り抜けるとき、奥入瀬溪流にきたことを実感します。十和田湖から流れ出る唯一の河川が奥入瀬川。湖岸子の口から焼山に架かる十和田橋までの約14kmが明治の文人・大町桂月が「住まば日本(ひのもと)」遊ばば十和田歩きや奥入瀬三里半」とうたった奥入瀬溪流。

画集を携えて

part III

平成30・31年度 新役員紹介

会長	山田 隆一 (再任)
副会長	美子 一子 (再任)
事務担当	恭雅 壽展 (再任)
会報担当	山下 井川 (再任)
理事	奥戸 照小 (再任)
理事	小林 光慎 (再任)
理事	小向 原隆 (再任)
理事	葛山 本洋 (再任)
理事	天間 孝代 (新任)
理事	工藤 喜子 (再任)
監事	田中 淳 (再任)



と滝めぐりを楽しむことが出来た一日に感謝。
注：十和田八幡平国立公園の奥入瀬川にかかる滝で、子の口の滝とも呼ばれる。(青森県百科事典)

在していることから「瀑布街」と呼ばれている。五月晴れ、誘われて多くの観光客が訪れていて、石ヶ戸等は、何処も満車状態だったので目的地の白布の滝、銚子大滝に駐車できなかったが、両方とも運良く出発する方がいたので、駐車することが出来ました。帰宅して撮影写真と画集を見ながら、様々なことに思いをめぐらしているとき、白布の滝に描かれている「蝶」が気になり、制作年を確認したところ、子の口大滝は1933年、画伯25歳、白布の滝は1990〜98年頃です。すから、画伯82歳〜90歳、晩年の頃の作品だということを知りました。

奥入瀬溪流の数ある滝の中、奥入瀬川の画伯が晩年の白布の滝を選び、蝶を描きこんだのだらうかなどと、所詮わかぬまでも、思いやこれやと、思いを巡らしながら画集を携えて森林浴



鷹山宇一記念美術館友の会
会員 照井壽一(八戸市)

―次回特別展―

漫画界のレジェンド

松本零士展

7月14日(土)から特別展「漫画界のレジェンド 松本零士展」を開催します。『宇宙戦艦ヤマト』『銀河鉄道999』などで知られる松本零士先生は、地球環境や宇宙開発など、早くから人類の未来像をテーマにSF漫画を描き、私たちに夢とロマンを与え続けています。2012年には、フランス政府よりフランス芸術文化勲章シュヴァリエを授章し、2013年9月には3Dアニメ・宇宙海賊キャプテンハーロックが世界78ヶ国で上映されるなど多くの話題を呼んでいます。



【松本零士先生】

代表作品のご紹介

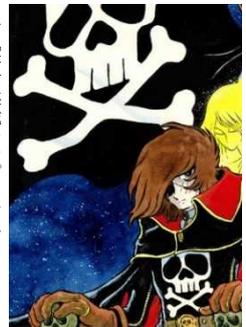
◆銀河鉄道999

1977年から1981年にかけて、少年画報社「少年キング」にて、連載されました。この作



↑「銀河鉄道999(セントエルモの火龍)」

◆宇宙海賊キャプテンハーロック



1977年から1979年にかけてプレイコミック

→「宇宙海賊キャプテンハーロック」(漫画表紙絵)

にて連載。連載開始の1000年後の西暦2977年という未来を舞台にし、地球侵略をたくらむ異星人マジンとハーロックたち宇宙海賊の戦いを描いた作品。2013年には世界78ヶ国でハーロックの3Dアニメが上映され話題を呼びました。

他にも...

『宇宙戦艦ヤマト』『男おいどん』など人気漫画の漫画原稿、セル画などを展示します。また、松本零士先生の幼少時代、学生時代などの秘蔵写真も公開します。貴重な資料の数々は必見です!



↑「宇宙戦艦ヤマト」(表紙絵)

漫画界のレジェンド

松本零士展

会期 7月14日(土)～9月9日(日)

*会期中無休

入館時間 午前10時～午後5時30分(閉館は18時)

入館料 一般850円、高校・大学生

400円、小・中学生200円

◆関連イベント

松本零士サイン会

8月12日(日)

14時～

限定100名

◎整理券は当日、開館10時より、図録購入の方に順次配布します。



桜・さくら・花しょうぶ
—成川美術館コレクション—
Report



鳥山玲「萌」

ソプラノ・フチコンサート



会期中、ソプラノ歌手・鷹山美緒さんによるフチコンサートを開催しました。誰もが知っている日本古謡「さくらさくら」

て三つ。①日本人にとつての桜②和歌に読まれた桜③桜の楽しみ方「枕草子」から。三村先生のわかりやすい解説で、会場のお客様も楽しそうな様子で先生のお話しに聞き入っていました。



お客様からの感想をご紹介します。

●雄大で美しい。圧倒されました。

【八戸市・60代女性】

●大変素晴らしかったです。是非見たいと思っていましたので大変満足でした。今日はいい夢が見られそうです。

【八戸市・60代男性】

●「お花見に行かなくてもいい！」というほど満足しました。

【八戸市・60代】

●桜の季節に合わせ、音楽の流れにも癒され、いい雰囲気の中でじっくり鑑賞させていただきました。素晴らしい心の栄養になりました。

【五戸町・70代女性】

●桜の花びら一枚一枚がすごく細かくてびっくりしました。

【青森市・10代女性】

●桜の展示はいつも楽しみになっている。今回は花しょうぶもあり、桜の華やかさとはまた違った凛と立つ姿の美しさに感動！

【八戸市・70代】

●あまりの美しさに圧倒されました。

【五所川原市・70代】

まだまだ、ご紹介しきれないお客様からの温かいメッセージがたくさんあります。多くの方に喜んでいただけようで大変うれしく思っております。ありがとうございました。



7月1日(日)まで開催中の特別展「桜・さくら・花しょうぶー成川美術館コレクション」。本展は現代日本画の最高傑作収集で知られる、成川美術館から、桜、花しょうぶを描いた作品を中心にお借りし、展示させていただきました。お越しくくださった皆様、ご協力いただいた方々、本当にありがとうございます。

開催式・レセプションパーティ



左から、青森放送株式会社代表取締役社長山本恒太様、七戸町長小又勉様、七戸町議会議長田嶋輝雄様、当財団理事長新谷勝弘

三村三千代氏講演会

や「ふるさと」、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」など、全7曲披露していただきました。一緒に口ずさめるような曲が多く、お客様の歌声も聞こえてきて、とても素敵なコンサートになりました。



6月16日(土) 八戸学院大学短期大学部客員教授の三村三千代先生による講演会を行いました。演題は「日本人と桜」。

今回も沢山のお客様がご参加くださいました。内容は大きく分け



●前回の成川美術館展も楽しめましたが、今年は特に一気に暖かくなり花々が一瞬で終わってしまったので、観覧会に参加させてもらえたよう心が安らかになりました。

【八戸市・40代】

【五戸町・女性】

平成29年度
鷹山宇一記念美術館
「美術館あーとくらぶ」
(3月講座)

「美術館あーとくらぶ」では、平成29年度最後のワークショップ「デコパージュをしよう」を開催しました。教室の様子を紹介いたします。

☆☆デコパージュをしよう☆☆



3月24日(土)は、「デコパージュをしよう」です。
デコパージュは、キッチンペーパーを特殊な糊で貼り付けコーティングします。ペーパーキンは2〜3枚重なってできています。その中でも使うのは絵柄が印刷された一番上の部分。そのため薄い紙を一枚一枚慎重に剥いていきます。思っように剥くことが出来ない時は、隣同士協力。最後は破けないように丁寧に糊で貼りコーティングして完成です。
出来上がった作品に皆さんご満悦。自分の作品を身につけていると、見た人に「どこで買ったの?」と聞かれるなど嬉しい声も頂きました。



平成29年度「美術館アートクラブ」に参加された方は、総人数113名でした。参加くださいました皆様、楽しいひとときをありがとうございました。そして、これからもよろしく願い致します。

平成30年度
鷹山宇一記念美術館「美術館あーとくらぶ」
さくら・桜・花しよび
「特別ワークショップ」



さくら・桜・花しよび



4月30日(月)は、「パステルで咲かせる桜」。
講師は佐伯知美氏です。
今回のパステル画は、簡単なものに素敵な作品に仕上げることが出来る方法です。まず、紙にイメージする色を塗っていきます。大ききの違う3枚の桜の花びらが型抜きされているトレーシングペーパーの上から練り消して色を抜いていきます。花びらを組み合わせ桜を表現して完成です。
花の配置に戸惑うことはありませんが、型紙を使用しているので絵を描くのが苦手な方も簡単に上げることができました。



さくら・桜・花しよび



6月10日(日)は「クイリングでつくる花菖蒲」。
講師は佐伯知美氏です。
ペーパークイリングとは、細長い紙をくるくる丸めてパーツを作り、それを組み合わせていろいろな形に仕上げていくペーパークラフトです。クイリングは、フランス・イタリアの修道女が聖書製本で余った貴重な紙を鳥の羽軸で巻き飾ったことが起源との説明に真剣に耳を傾けてい



ました。実際に制作してみると細かい作業で戸惑いましたが、最後は、それぞれ、素敵な花菖蒲が咲き乱れました。

東京都美術館に「板院展」を見に行ってきました!!
実は・・・
H29年度に行ったワークショップ「年賀状木版画」の参加者10名の作品が会場に!!

【いざ、年賀状展示会場へ】・・・



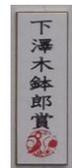
◀ 板院展の一角に年賀状のブースがありました。



▲参加した小学生の作品です。▲参加した一般の作品です。(全員入選です)

藤谷芳雄氏
第68回板院展にて
【下澤木鉢郎賞】受賞!

毎年、年賀状木版画教室で講師を務めていただいている日本板院青森支部長の藤谷芳雄氏が第68回板院展にて「下澤木鉢郎賞」を受賞されました。



【WSのお知らせ】

松本零土展開催中のワークショップ日時決定!

8月11日(土)
9月2日(日)

内容は決まり次第HPにてお知らせいたします。



美術館日誌

◆4月◆

- ▼1日(日) 辞令交付式
- ▼2日(月) 桜・さくら・花しょうぶ展
RAB 山本社長開催式出席依頼
(館長/青森)
- ▼4日(水) 桜・さくら・花しょうぶ作品搬入
(東京マルイ美術)
- ▼5日(木) 桜・さくら・花しょうぶ作品展示
(東京マルイ美術)
- ▼6日(金) 桜・さくら・花しょうぶ
成川美術館コレクション
レセプション開催
- ▼7日(土) 桜・さくら・花しょうぶ
成川美術館コレクション開催
- ▼12日(木) ギャラリー森山作品返却
(館長/弘前)
- ▼13日(金) 美術館屋根補修説明
(生涯学習課)
- ▼14日(土) 友の会監査(美術館2階)
- ▼15日(日) 七彩会総会(美術館2階)
- ▼21日(土) 鷹山美緒ソプラノコンサート
京都「えき」来館
(遠藤・織川/十和田)
- ▼23日(月) 西沢立衛講演会
- ▼28日(土) ワークショップ
(遠藤・織川/十和田)
- ▼30日(月) 「パステルで咲かせる桜」
講師 佐伯 知美氏
- ▼2日(水) 八戸市立根城公民館
32名来館

◆5月◆

- ▼3日(木) 鷹山美緒ソプラノコンサート
収蔵資料監査
(理事長・常務理事・監事・館長・遠藤)
- ▼7日(月) 会計監査
(常務理事・監事・館長・成田)
- ▼10日(木) ふるさと納税打合せ
(館長・商工観光課)
- ▼11日(金) 理事会
七彩会
(館長・青森)
- ▼12日(土) 友の会役員会
(杉屋敷奥山)
- ▼13日(日) CM作品撮影
(RAB 内山・一戸)
- ▼17日(木) あおもり県民カレッジ
連携機関連絡会議
(館長/美術館2階)
- ▼19日(土) 鹿内コレクション引取
(遠藤・對馬/青森)
- ▼23日(水) 評議員会
青森県博物館等協議会総会
(館長/県立郷土館)
- ▼24日(木) 美術館屋根点検(石川設計)
RAB ラジオ生放送中継
- ▼27日(日) ふるさと納税打合せ
(カメイ(株)・館長・成田)
- ▼29日(火) 鷹山美緒ソプラノコンサート
消防設備点検(昭和電気)
自動ドア点検(ナブコ)
- ▼31日(木) 友の会総会

◆6月◆

- ▼1日(金) 友の会研修旅行
(青森県立美術館・常田健 土蔵のアトリエ美術館)
- ▼2日(土) ワークショップ
「クイリングで作る花菖蒲」
講師 佐伯 知美氏
- ▼7日(木) ワークショップ打合せ
(織川/城北児童センター)
- ▼8日(金) 生涯学習課・石川設計
(生涯学習課)
- ▼9日(土) 八戸学院大学短期大学部客員教授
三村三千代講演会
演題「日本人と桜」
- ▼10日(日) 七彩会
「椿展」打合せ
(あいおいニッセイ同和損保・反町氏 社会教育訪問
(上北教育事務所) 22名来館)
- ▼13日(水) 子育てサンサンルーム長者
キャリア教育出前授業
(遠藤/城南小学校) 2名職場体験
- ▼15日(金) 七戸町立天間林中学校
- ▼16日(土) 七戸町立天間林中学校
- ▼17日(日) 七戸町立天間林中学校
- ▼19日(火) 七戸町立天間林中学校
- ▼21日(木) 七戸町立天間林中学校
- ▼27日(水) 七戸町立天間林中学校
- ▼28日(木) 七戸町立天間林中学校



▲皆さん、観音様は見つけられましたか？！



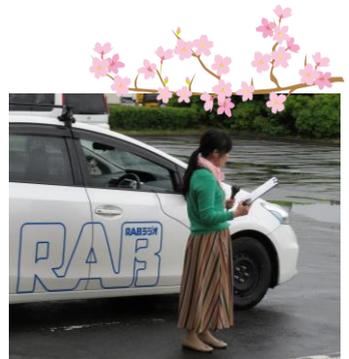
▲友の会会員の皆様と記念に「はい、チーズ！」



▲「ミムラン」人気凄いです！！大坂からのファンも駆けつけて下さいました



▲ソプラノで歌う日本の歌に涙する人も



▲張間さんが、美術館前から公開生中継！！八郎さん、筋野さ〜ん

「鷹山宇一の描いた蝶の種類」

鷹山宇一記念美術館 研究員 對馬 康夫
(日本鱗翅学会会員)

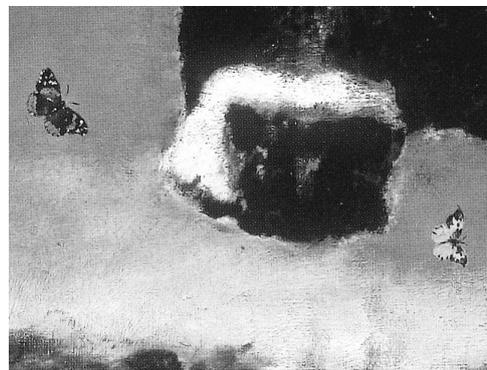
今回は筆者が述べた「宇一（敬称略）の描いた蝶の数」の中で、予告した通り同定できた蝶の種類と数を示して、宇一が好んで描いたのは何という蝶なのかを紹介します。それは2月の時点で終えた「鷹山宇一画集」（2014）と「鷹山宇一素描集」（1999）のカラー図版、油彩24点、素描8点の計32点を対象に行った同定作業の結果、日本産蝶類以外は明らかに判別できる外国産を除いては不明として処理していました。ところが、4月になって宇一が蝶を描くために集めたスクラップファイルと宇一が集めていた蝶の標本が発見されたことから、描かれた蝶の再同定を余儀なくされました。ファイルは蝶の写真、蝶の生態写真等の切抜きが貼られているスクラップ帳4冊で、その内容は日本の蝶から世界の蝶にわたり、ページ数にして256ページに及ぶものでした。しかもファイルの中には私が同定に用いているポール・スマート著「世界の蝶」の図鑑の切抜きも見られました。また蝶の展翅標本は一つの箱に2、3頭づつ収納された20cm位の小型のボール紙製ガラス蓋標本箱が25箱と40cm×30cmの桐製標本箱1箱の計26箱あり、合計63頭が収蔵されて

いました。日本産のみヤマカラスアゲハ2頭以外はアフリカ、インド、東南アジア、南米などの外国産の蝶でした。そこで標本の同定を行い、スクラップ帳にファイルされた蝶の写真等を参考にして急遽作品に描かれた蝶の再同定を行いました。

その結果、アゲハチョウ科29種（3頭、タテハチョウ科51種203頭、シロチョウ科17種115頭、シジミチョウ科30種135頭、その他6種9頭でした。その合計を2月に作成したリストと比較すると、2月の時点で75種303頭であったものが再同定により123種561頭に増え、種数で1.8倍、蝶の数で1.8倍となりました。シジミチョウ科を除いては外国産の同定種が増えており、特にアゲハチョウ科は日本産を上回りました。



「牧歌」 油彩
1958年 第43回二科展



「牧歌」部分
左：アカタテハ 右：モンキチョウ

再同定したリストをもとに宇一が好んで描いた蝶のベストテンを表に示しました。意外にも最も多く描かれた蝶はモンキチョウの32頭で、次いでアカタテハの27頭でした。第1位、第2位を占めたモンキチョウとアカタテハですが、両種のみが描かれた作品に「牧歌」（1958年）（写真）があります。作品に向かって牛の口の左側にアカタテハ、右側にモンキチョウが描かれています。作品数ではアカタテハが27作品と最も多く、調査対象作品の2割に描かれていることになりました。カラスアゲハは25頭で第3位でしたが、作品数では13作品とベストテンの中では最も少なく、その理由は6頭のカラスアゲハが群れ飛ぶ「波濤遊蝶」（1960年代）などの作品のように複数描かれた作品が多いためです。第4位から7位にランクされたヒメシジミ、ツマキチョウ、ベニシジミ、クモマツマキチョウは、いずれも小さく可憐な蝶です。宇一が蝶に注ぐ愛情の一端を

(表) 宇一が描いた蝶ベストテン

順位	蝶の数(頭)	作品数(点)	蝶の種名	科名	翅の色彩	備考
1	32	24	モンキチョウ	シロチョウ科	黄	
2	27	27	アカタテハ	アゲハチョウ科	赤	(*1)
3	25	13	カラスアゲハ	アゲハチョウ科	黒	
4	24	17	ヒメシジミ	シジミチョウ科	青	(*2)
5	22	21	ツマキチョウ	シロチョウ科	白	
6	22	19	ベニシジミ	シジミチョウ科	赤(橙)	
7	20	19	クモマツマキチョウ	シロチョウ科	白	
8	18	18	アポロウスバアゲハ	アゲハチョウ科	白	
9	17	17	アオタテハモドキ	アゲハチョウ科	青	
10	17	16	ゴマシジミ	シジミチョウ科	青	

(注) 蝶の分類は人為的なもので、その時代の権威により異なります。ここでは現在の分類体系に従い、シロチョウ科、アゲハチョウ科、タテハチョウ科、シジミチョウ科、セセリチョウ科の5科を採用しました。

(*1) ヨーロッパアカタテハを含む。

(*2) ヒメシジミには類似種が2種類（ミヤシジミ、アサマシジミ）存在。

感じさせる蝶たちです。外国産の蝶で唯一ランクインしたのが第8位のアポロウスバアゲハです。その名のごとくギリシャ神話の太陽神アポロンに由来する蝶です。アポロウスバアゲハ1頭のみが描かれた作品に「真珠」（1960年代）がありますが、半透明の白い翅に赤い斑紋をあしらった姿は自然の造形美というほかありません。

次回宇一が好んで描いた蝶のベストテンの中から何種類かを選んで、その蝶の特徴、生息環境、生態などについて紹介していきたいと思えます。

